

ワールドキャンサーデー

2026年2月4日(水)

オンライン開催
YouTubeにてライブ配信



ライトアップ ザ ワールド 17:30~18:15 <https://worldcancerday-jp.org>



ゲスト: 秋野暢子さん

国際対がん連合(略称UICC)日本委員会では、2026年2月4日(水)ワールドキャンサーデーに、全国各地のライトアップ会場と繋げ、ライトアップイベントをオンラインにて開催します。ワールドキャンサーデーは、毎年2月4日にひとりひとりが、がんに関する意識を高め、知識を増やし、この病気に対して行動を起こすことを目的として、世界が一体となって各地でさまざまな取り組みを行う日です。

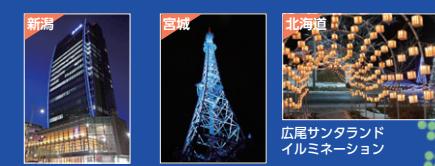
世界各地をライトアップするUICCのイベントである「Light Up the world」と連動して、全国各地のライトアップ会場にて、点灯合図にあわせてUICCカラーの「ブルー」「オレンジ」へとライトアップを行います。ライトアップの様子はオンラインにて配信。共有したい、思いを一つにし、日本ががんに立ち向かう決意を、日本・世界に発信いたします。2025年から3年間のワールドキャンサーデーのテーマは、“United by Unique”です。



上野賢一郎厚生労働大臣よりメッセージ

ライトアップ点灯式 一未来に光を繋ぐー

日本各地でライトアップの点灯式をおこない、日本国内のみならず世界にむけて、がんに立ち向かう想いを発信します。



新潟日報メディアシップ 仙台スカイキャンドル
世界遺産 相倉合掌造り集落



王 貞治さん
福岡ソフトバンクホークス
取締役会長



野田哲生
UICC日本委員会委員長
(がん研究会名誉研究会長)



中釜 齊
UICC日本委員会幹事
(がん研究会名誉研究会長)



垣添忠生
UICC日本委員会幹事
(日本医療研究開発機構理事長)



河原ノリエ
UICC日本委員会広報委員長
(東京大学総合文化研究科特任准教授)

ライブセッション

「これからのがん予防とがん医療を知る!」

ライトアップ点灯式に引き続き、同じサイト内でライブセッションを行います。

近年、がん研究領域には各種の革新的な研究手法が導入され、ヒトがんに関する新たなエビデンスが数多く得られています。

そして、そうした多様なエビデンスに基づいて、新たながん予防法やがん治療法が開発されつつあり、今後のがん予防・がん医療は、大きく変貌を遂げることが期待されています。

そこで、今年のライブセッションでは、UICC日本委員会の中心的なメンバー組織である、日本癌治療学会や日本癌学会から、当該研究領域を代表する研究者の方々を演者としてお招きし、今後、がん予防とがん医療はどのような変貌を遂げ、どのように我々をがんから救ってくれるのかを教えて頂きます。

司会 吉野孝之(日本癌治療学会)
司会 大島正伸(日本癌学会)
講演 松尾恵太郎(愛知県がんセンター研究所)
講演 本田一文(日本医科大学大学院医学研究科)
講演 間野博行(国立がん研究センター)
講演 富樫庸介(岡山大学学術研究院医歯薬学域)



主 催
UICC日本委員会
www.jfcr.or.jp/UICC

協 賛
iTMS株式会社
エグザクトサイエンス株式会社
株式会社ファルコバイオシステムズ